

LPガスCP速報(2020年7月積)

1. 7月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン **360** ドル (前月比+10 ドル)

ブタン **340** ドル (前月比+10 ドル)

① LPガススポット市況等

LPガス市場をみると、原油市況が続騰するなか、LPガス需要は、不需要期と新型コロナ感染拡大により振るわず、中国、インドも在庫水準は高く輸入は減少する一方で、サウジアラムコは原油減産に伴い7月積みについてもLPG供給料を削減し、需給は均衡、市況は堅調に推移した。CP先物はプロパン、ブタンともに続伸、プロパン・ブタン格差は10~15 ドル どころで推移。極東CFRは第3週にプロパン340 ドル 、ブタン325 ドル まで上昇したが、第4週末にはプロパン330、ブタン310 ドル どころに反落した。

全米プロパンは、輸出は低水準、需要は不需要期入りで低調、全米在庫は増加傾向にあるが、在庫水準は前年同期比100.6%と前年並みに戻している。米モンベルビュープロパンスポット価格は原油価格に連れ高、前月比47 ドル 上げの260 ドル/ト どころ(グラフ①)。

フレート市況は軟化。COVID-19感染拡大の影響で需要が減少、新造船のデリバリー予定もあり、備船需給緩和感が強く月間平均では前月比27 ドル どころの続落となった。

ナフサは原油価格に連れ高し大幅に続騰、月間平均は358 ドル どころで、前月比88 ドル の上昇。

バンカーオイルは原油市況に追随して大幅続騰した。シンガポールIFO380は月間平均で前月比56 ドル 高の248 ドル どころ、LSMGO(低硫黄マリンガスオイル)は同80 ドル 上昇の352 ドル どころ、両油種の格差は95 ドル に拡大した。

7月CPは前年同月比プロパン、ブタンともに15 ドル 安。原油(アラビアン・ライト)熱量等価換算では、前月に比べプロパン46、ブタン44ポイントそれぞれ下落、前年同月比ではプロパ55ポイント、ブタン52ポイントそれぞれ高い。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート	29.1	27.4	24.9	27.2	27.2
CP先物指標:P	315	320	335	345	329
CP先物指標:B	300	310	320	325	314

② 原油市況等

原油市況は、4月20日にWTIがNYMEX史上初めてマイナス価格を記録する歴史的な大暴落から急反騰、6月は35 ドル 台でスタートし40 ドル を挟んで堅調に推移した。OPECプラスの970万b/dの協調減産が7月も延長され、COVID-19感染拡大による世界各国の都市封鎖、移動制限措置が緩和され、経済活動再開に伴うエネルギー需要の回復、需給再均衡期待が高まった。一方、米国内原油生産量は1,300万b/d超の過去最高水準から減産が続き一時1,050万b/dまで減少した。米石油リグ稼働数の急減が続き、直近で前年同期比76%減の188基、2009年5月以来の低水準となっている。ただ、製油所稼働率が70%台前半の低水準にとどまり、全米原油在庫は6月に入ると3週連続で過去最高を更新した。石油需要は本格的なガソリンシーズン入りで回復基調にあるが、前年同期比2割前後の減少、留出油も2割、ジェット燃料は6割超の減少が続く、シェール業界では破綻が続出するなど苦境に立たされている。

なお、CFTC発表の大口投機玉の買越残高は23日時点では561千枚、前月末から18千枚増加。買い建玉は4月の暴落を受けて増加し70万枚以上の高水準が続いているが、業者玉は減少している。米株価が世界的な経済活動再開を受けて反騰、各国の金融緩和政策でコロナバブルの様相を呈しており、金融市場のリスクが高まっている。

○7月積みアラビアン・ライト(6月1~29日までの想定)は34.83 ドル (前月比+10.05 ドル)

熱量等価AL100% プロパン285.57 ドル/ト ブタン281.65 ドル/ト

AL比 プロパン126.06% ブタン120.72%

*上記ALはE I N推計、確定値は後日Webサイトでご確認ください。

2. 2020年7月LPガス仕切（CP・MBコスト変動分）への影響

適用為替	T T S	P円建CP	B円建CP	MB合成P	P前月比	B前月比	合成P前月比
①20日締め	108.75	44,400	41,600	43,800	+1,300	+200	+2,100
②末日締め	108.55	38,500	36,400	38,800	+1,100	+100	+2,300

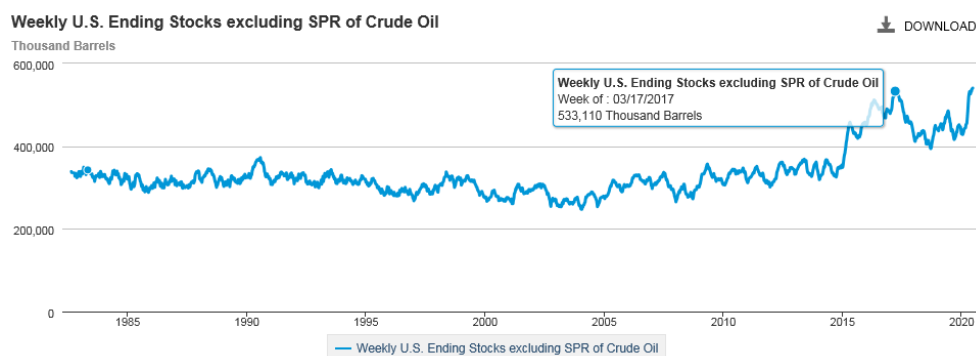
* T T S平均について、①が5月21日～6月20日、②6月1～30日まで。①、②いずれも前月・当月CP50%案分。MB合成の比率は①、②ともにCP70%、MB30%で算定。①は中東・北米フレートを含むCFRコストを②はFOB（北米経費込み）コストを表示。

なお、上記MBは3月28日までの価格を基にE I Nで試算（258ドル/トン）したもので、メーカー各社の最終確定値とは異なる。また、各社の仕切はフレート分、バンカーサーチャージ等の改定やフォーミュラ見直しもなされるため、仕切等の詳細はWebサイトを参照。

①MB価格推移



②米国原油在庫推移



③米原油生産量推移

